利用者の声

ワークネットを利用してよかったこと

ワークネットきょうとを初めて知ったのは主治医の先生に紹介されたのがきっかけでした。しかし、まだその頃は体調が不安定で自信もなかったため、デイケアで生活リズムと体力を付けてからワークネットきょうとの利用を開始しました。

通所は短い時間からスタートして身体と精神を慣らしていくのに時間がかかりましたが、約半年後には終日利用でも余裕をもって作業ができるほど鍛えることができました。あと、同じく就職を目指す仲間たちもいたので心強かったり、影響を受けたりもしました。そして体験実習では3つの企業に行かせてもらいました。働くことが数年ぶりだったので、緊張して失敗やコミュニケーションがうまく取れずに落ち込んだりもしましたが、その失敗をスタッフさんと振り返って、気を付ける所などをまとめて次の実習に備えました。

今勤務しているピーエムドゥさんでの雇用前実習の話を受けた時には、正直なところ初めは自信はなかったですが、会社担当者の方を交えた面談でうまくいくように調整してもらいました。その甲斐があって、実習が始まってからはしんどいこともありましたが、大きな問題はなく契約社員として就職させていただき、今では正社員になっています。担当のスタッフさんには、このような良縁とここまでのサポートをしていただき、とても感謝をしています。

これからワークネットに期待すること

働いていく中で、これから変化が多くなってくると思います。自分は大きな変化には苦手であるので、その時にはサポートを欲しいと思っています。

最近の例でいえば、勤務時間を延ばすことに対して、「時間は延ばしたいけど、できるか自信がない」ということがありました。その時は、面談で話し合いうまい落としどころを見つけて、「できるかもしれない」という自信をいただきました。その後も時間が増えることがあった時も電話で相談させていただくことで、不安でいっぱいな気持ちを何とか持ち直し無事時間を伸ばせました。

ピーエムドゥさんでは私に期待をされているようでプレッシャーもあります。これからも新しいことが多くあると思うので、その時に相談やアドバイス等で前に進む手助けをいただけたら幸いです。

企業担当者の声

ワークネットと連携してよかったこと

弊社では障害を持つ方が行われる事務補助作業であるからといって決して軽微ではありません。その方の特性に合わせて作業を振分けし、障害者のカテゴリーに属されていても、仕事にやりがいを感じ、誇りを持って生き生きと日々を過ごされれば、将来の目標に対して着実にステップアップされます。そのため依頼する作業は手順が複雑化したり、イレギュラー対応のため作業手順から構築しなければいけなかったりします。資料やマニュアルを提示し作業手順を説明した上で一緒に作業をおこなっても、自立し作業を行うとなると円滑に進められない方が多いです。また作業の建付けや、なぜ今この作業を行うかを理解いただく事にはかなりの時間を要し、結果、一連の作業を点に分割し行っていただく事になります。

この過程の中で「頭や言葉では理解できている」が「行動は具体的にわからない」というような場合に作業や気持ちの整理をし、落とし込みを行ってくださるのがワークネットきょうと様でした。また個々人に響くキーワードを教えてくださったり、本人と企業とは違う信頼関係をお持ちのため、気持ちの変動や体調管理について本人としっかりと連携いただけるため、本来雇用主会社としてマネジメントに必要な労務管理に直結する部分を担っていただけます。

このようなマネジメント分担が出来るため、企業では現場での丁寧なマネジメントが可能になりました。また特例子会社としての飛躍を目指し生産性や体制構築などにも注力する事が出来ます。今後とも是非お力添えいただきたいです。

ワークネットに期待している事

精神科の疾患をお持ちの方は一見安定しているように見えても症状の波があり、長期的に就労を継続してもらううえでは継続的なメンタルフォローが必要と考えています。そのため、これまで通りご紹介いただいた方のサポートや情報共有等の連携を行っていただきたいです。

また、就労希望の方をたくさん引受させていただければ、雇用中の障害を持つ社員間でのコミュニケーションが既に構築されているため、違う方法で入社した障害を持つ社員にも派生し、グループ全体が活発にコミュニケーションを行えます。自分表現が苦手な社員も自己否定感が強くマイナスに捉えがちな社員も安心感をもってコミュニケーションに参加していきやすい環境になるため、今後も是非、就労希望の方をご紹介いただきたいです。